

事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域（地区）名	上川南部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	旭川市ほか13市町村
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道のほぼ中央に位置し、中央には旭岳を主峰とする大雪山系、南部にかけては、夕張山地と日高山脈に囲まれており、それぞれ広大な上川、富良野の各盆地が広がる。本地区の中央部には大雪山系を水源とする石狩川が貫通し、南部は石狩川の支流である空知川が流れ、広大な沃野を形成している。</p> <p>本地区の森林資源の現況については、総面積 565 千 ha のうち、民有林と国有林を合わせた森林面積は 421 千 ha（森林率 74%）、このうち民有林における人工林の面積は 55 千 ha（人工林率 38%）で、カラマツが 41%、トドマツが 38%を占めている。人工林の齢級構成は 8 齢級以上が 75%と本格的な森林資源の利用期を迎えており、増大する利用可能な資源の活用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>また、本地区の路網整備の状況は、地区内の林道延長が 406km、公道等を含む林内道路密度は 13.2m/ha となっており、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されている。本地区の豊富な森林資源を有効に活用していくとともに、効率的な森林整備を実施していくためには、更なる路網整備の推進が必要となっている。</p> <p>本事業は、充実した森林資源の循環利用を推進しつつ、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、上川南部森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：17,708 ha</p> <p>人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：3,300 m</p> <p>林道開設</p> <p>総事業費：6,293,401 千円（税抜き 5,721,274 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.70</p> <p>（総便益（B）＝ 37,863,065 千円、総費用（C）＝ 10,235,226 千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 本地区は、利用期を迎えている林分が多く所在し、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るために、主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 効率的な森林整備を実施する上で必要となる路網整備を一体的に実施するなど、現地状況に基づき計画的に事業を推進することとしており、費用対効果分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 適正な保育・間伐等の森林整備及びそれらに必要な基盤として路網整備を一体的に実施することで、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

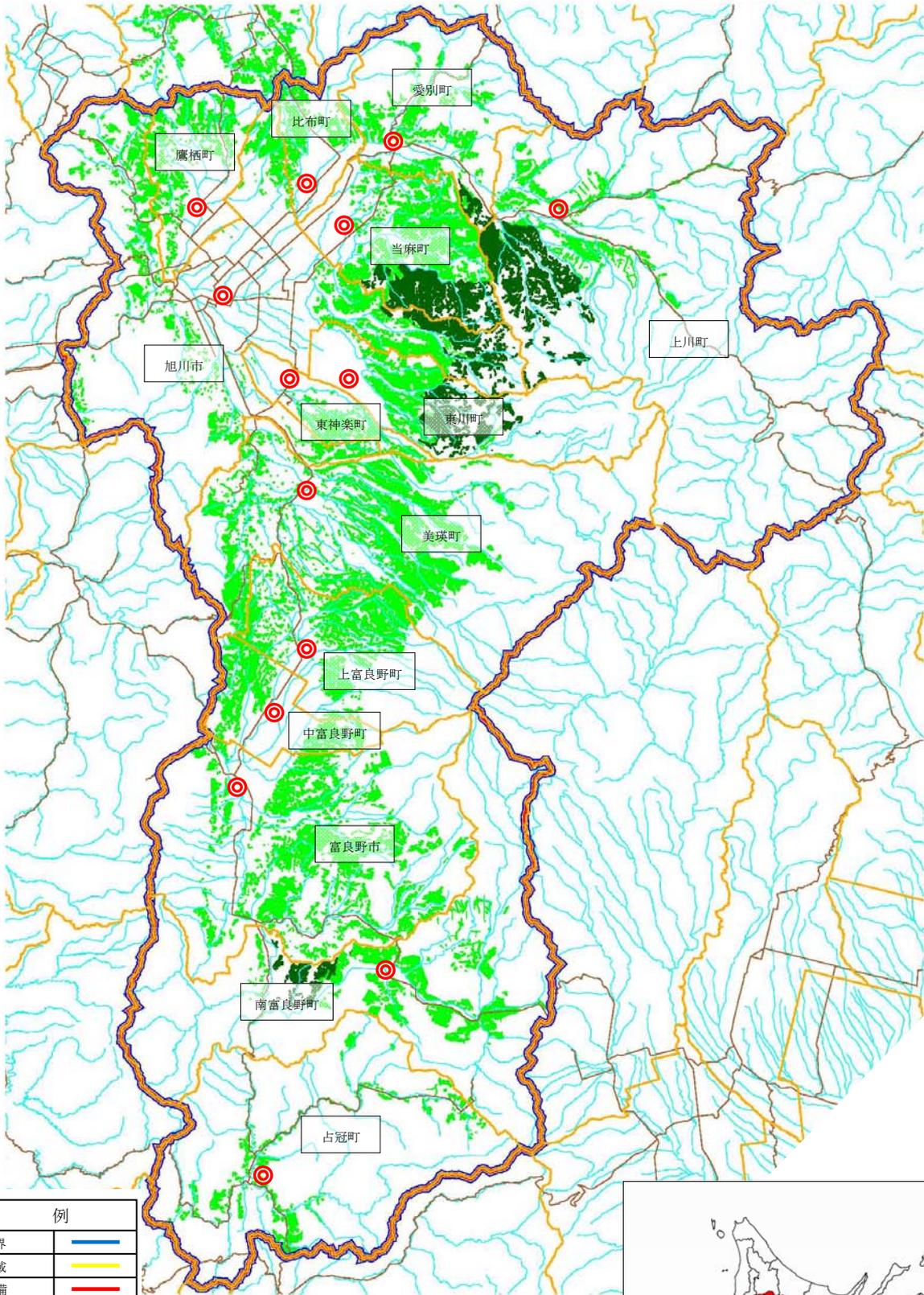
都道府県名：北海道

地域(地区)名：上川南部

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,976,884	
	流域貯水便益	1,989,059	
	水質浄化便益	7,674,107	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,154,461	
環境保全便益	炭素固定便益	3,154,272	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,840	
	木材生産確保・増進便益	4,676,270	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	72	
	森林整備促進便益	234,100	
総 便 益 (B)		37,863,065	
総 費 用 (C)		10,235,226	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,863,065}{10,235,226} = 3.70$		

森林環境保全整備事業 上川南部地域（北海道）



凡	例
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林（人工林）	
道有林（人工林）	

